事業番号	15 06 01	**事業改善シート（令和８年度実施事業分）**	□当初要求 □当初予算案 ■補正予算案 □点検			
事 業 名	**「探究的な学び」推進事業費**	部局	教育委員会事務局	課・室	学びの改革支援課	
		実施期間	H30 ～	E-mail	kyogaku @ pref.nagano.lg.jp	

1 現状と課題

変化が激しく予測困難な時代に直面する中、「新たな社会や価値を創造する力」を育成するため、大学や企業等と連携した探究的な学び、多様で新たな学びを推進していく必要がある。

2 事業目的

高校での学びを従来の知識を蓄えることを中心とした学びから、他者と協働した能動的な活動の過程で考察・理解を深めることを中心とする「探究的な学び」に転換していく。その学びの中で、生徒が「知識・技能」とともに「思考力・判断力・表現力等」や「学びに向かう力、人間性等」をバランスよく身に付けるようにする。生徒が「探究的な学び」を地域や世界の中で深めることで、自己の在り方や社会との関わりについて、地域に根ざしたグローバルな視野で考え、自ら構想したキャリアデザインを実現できるようにする。

3 事業目的を達成するための取組

①VUCAの時代に対応して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成

当初予算のとおり

②生徒の「学びたい」を支える、多様な学びの場や学びの選択肢の充実

・産業イノベーション人材の育成に向け、国の高等学校等教育改促進事業に採択された改革先導拠点における教育改革を推進するため、事業実施体制の構築等に着手する。

（９月補正で計上した松本工業高等学校に加え、追加採択された飯田高等学校、佐久総合技術高等学校、総合教育センター分を追加で計上）

※その他の事業は、９月補正及び当初予算のとおり

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし ―：数値なし）

No.	指標名	単位	R5年度 実績	R6年度 実績	R6年度 推移	R7年度 実績	R7年度 推移	R8年度 目標値	達成状況	目標値設定理由
①	インターンシップ実施校率	%	100	100	→	100	→	100		各校の高校卒業後の進路に関わりなく、インターンシップ実施校率を高めることで、高校生のキャリアデザイン力育成を支援するため、令和８年度は100%を維持する。
②-1	探究的な学びの質を高める大会・コンクール・発表会への参加生徒数	人	458	498	↗	622	↗	570		探究的な学びの質を高める大会等への参加者を高めていくため、令和８年度は570人を以上を目標とする
②-2	海外留学に向けた啓発イベント参加者数	人	205	244	↗	284	↗	250		海外留学を促進するための説明会等を実施し、総合５か年計画に掲げる海外への留学者率を高めていくため、令和８年度は250人を目標とする。

5 本事業が貢献する総合５か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標（☆印が付いているものは主要目標）	単位	直近３か年の状況						目標	
				年／年度	数値	年／年度	数値	年／年度	数値	年／年度	数値
5-1①	一人ひとりが自分にとっての幸せを実現できる学びの推進	学校の教育活動全般に対する生徒(高校生)の満足度	%	2023 (R5)	84.4	2024 (R6)	85.2	2025 (R7)	85.0	2027 (R9)	84.3
5-1①	一人ひとりが自分にとっての幸せを実現できる学びの推進	☆高校生の海外への留学者率	%	2023 (R5)	1.2	2024 (R6)	1.7	2025 (R7)	1.7	2027 (R9)	2.0
5-1①	一人ひとりが自分にとっての幸せを実現できる学びの推進	公立高校現役生で進学希望者のうち進学した者の割合	%	2023 (R5)	92.6	2024 (R6)	92.8	2025 (R7)	91.5	2027 (R9)	94.9
5-1①	一人ひとりが自分にとっての幸せを実現できる学びの推進	公立高校卒業後就職希望者の就職内定率	%	2023 (R5)	98.6	2024 (R6)	98.8	2025 (R7)	98.4	2027 (R9)	99.5

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額						決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	うち今回補正額	合計（予算現額）	うち一般財源		
R8年度	0	688,308	55,223	**49,892**	743,531	505,777		13.0
R7年度	0	732,914	△ 151,151		581,763	417,981	535,229	13.0
R6年度	0	633,362	△ 48,899		584,463	380,881	525,905	13.0

事業番号	15 06 01	細事業一覧（令和８年度実施事業分）	□当初要求 □当初予算案 ■補正予算案 □点検

事業名	「探究的な学び」推進事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	学びの改革支援課

細事業No.	細事業名	R6年度予算現額	R7年度予算現額	R8年度予算
1	**科学教育推進事業**	18,354 千円	21,679 千円	予算現額 15,031 うち今回補正額 0 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和８年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）
1	科学エキスパート講座	直接	ものづくり、イノベーションを支え、世界で活躍できる科学技術人材を育成するために、物理・化学・生物・地学・情報・数学の大学教員による実力養成講座を実施し、自然科学等を学ぶことの面白さを伝える。また、各種科学コンテスト参加者を増やし、勝ち抜いていくための実力を養成する。 信州大学の理・工・農・繊維の4学部で各4講座、計16講座を実施し、各講座に約10名が参加
2	サイエンス・アソシエーション・プロジェクト	直接	ものづくりやそれにつながる基礎研究に対する生徒の興味喚起や視野拡大、また、国際性の涵養や卓越性の伸長を図り、世界で活躍できるグローバル人材を育成するため、県立高校が企画して実施する、大学・研究機関・企業と連携して行う科学技術に関する国内研修を募集し経費を助成する。 上限300千円／校、15件程度
3	信州サイエンスキャンプ	直接	理数系科目への興味・関心を高め、将来地元産業を支える科学技術系人材を育成するため、自然科学系部活動、理数科等の生徒同士の交流を通して、切磋琢磨できる場を開催する。 信州サイエンステクノロジーコンテスト、課題研究研修会、信州サイエンスミーティングを各1回開催
4	スーパーサイエンスハイスクール指定校支援事業	直接	生徒の科学的能力を培い、将来、国際的に活躍する科学技術関係人材を育成するため、文部科学省のスーパーサイエンスハイスクール（SSH）事業の指定校に対する事業支援と指導を実施する。 指定校：飯山高校、屋代高校・附属中、諏訪清陵高校・附属中

細事業No.	細事業名	R6年度予算現額	R7年度予算現額	R8年度予算
2	**県立高等学校ＤＸ加速化推進事業**	141,357 千円	97,003 千円	予算現額 107,000 うち今回補正額 0 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和８年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）
1	県立高等学校ＤＸ加速化推進事業（ＤＸハイスクール）	直接	高校段階においてデジタル等成長分野を支える人材を育成するため、ＤＸハイスクールを創出し、情報、数学等の教育を重視するカリキュラムを実施するとともに、ICTを活用した文理横断的・探究的な学びを強化する学校の環境整備を行う。 県立高校20校

細事業No.	細事業名	R6年度予算現額	R7年度予算現額	R8年度予算
3	**カリキュラム編成支援事業**	102,469 千円	87,716 千円	予算現額 86,573 うち今回補正額 0 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和８年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）
1	カリキュラム編成支援事業	直接	県立高校において、特色あるカリキュラムを編成し、キャリア形成につながる学びや「主体的・対話的で深い学び」を実現するため、非常勤講師又は学習支援員を配置する。 非常勤講師78校、学習支援員50校に配置

細事業No.	細事業名	R6年度予算現額	R7年度予算現額	R8年度予算
4	**学力向上推進事業**	9,392 千円	7,581 千円	予算現額 8,273 うち今回補正額 0 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和８年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）
1	教育課程改善推進事業	直接	文部科学省主催の各教科担当指導主事連絡協議会等への参加による情報収集及び伝達を行う。 各教科担当指導主事連絡協議会４回、教育課程研究協議会４地区各１回
2	進路指導力向上支援事業	直接	グローバル化、情報化の進展や生産年齢人口の急減などの社会構造の急激な変化にも対応できる「学力の３要素」の育成と、生徒一人ひとりの進路実現を図るための各校の取組を支援する。 進路指導研究協議会開催、新入試問題対策支援

細事業No.	細事業名	R6年度予算現額	R7年度予算現額	R8年度予算
5	**県立高校における長期入院生徒への学習支援事業**	443 千円	146 千円	予算現額 117 うち今回補正額 0 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和８年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）
1	県立高校における長期入院生徒への学習支援事業	直接	遠隔教育システムやZoom等のICT機器を活用し、教室と接続した同時双方向の遠隔授業や個人学習等を実施することで、長期入院中の生徒の学習機会を保障し、学校生活への復帰に向けた学習支援を行う ICT機器のレンタル、学習支援

細事業No.	細事業名	R6年度予算現額	R7年度予算現額	R8年度予算
6	**授業目的公衆送信補償金**	19,741 千円	19,252 千円	予算現額 19,249 うち今回補正額 0 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和８年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）
1	授業目的公衆送信補償金	直接	授業や宿題で著作物の利用を無許諾・有償で利用できるようにするため、学校設置者として長野県教育委員会が、県立学校の補償金を負担する。 県立中学生480人分、県立高校生38,844人分の補償金を負担

細事業No.	細事業名	R6年度予算現額	R7年度予算現額	R8年度予算
7	**キャリア教育推進事業**	3,808 千円	3,648 千円	予算現額 5,021 うち今回補正額 0 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和８年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）
1	キャリアデザイン力育成事業	直接	地域をフィールドとした探究活動に取り組む中学生が一堂に会し、得た成果を共有する信州ミライ探究フェス等を実施。 生涯にわたるキャリアデザイン力を育成し、発達段階に応じた社会的・職業的自立を図るために、インターンシップの経費を負担する。 損害賠償保険補助6,000名分、信州ミライ探究フェス
2	高等学校教科競技大会派遣事業	交付金	高等学校における教科競技活動の振興を図るため、職業高校系クラブ等の全国大会等への参加経費に対し助成する。 生徒大会旅費・宿泊費の一部を負担

細事業No.	細事業名		R6年度予算現額	R7年度予算現額	R8年度予算
8	**特色ある学科設置事業**		6,084 千円	4,680 千円	予算現額 3,830 うち今回補正額 0 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和８年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	県立高校「未来の学校」（第Ⅱ期）構築事業	直接	「第４次長野県教育振興基本計画」の「第３編　これからの長野県教育のあり方　第２　政策」や、「県立高校の特色化に関する方針」を踏まえて、先進的・先端的な取組を行う実践校を指定し、本県の高校教育の質的向上、教育課題の解決及び次の時代を見据えた新たな学びの場の創造を図り、成果を県下の高校へ普及させる。（第Ⅱ期実践校：須坂、長野西、坂城、豊科、白馬）		
			「未来の学校（第Ⅱ期）」実践校の研究支援（５校）、成果の普及に向けた報告会		
2	高校生探Ｑフェスティバル	直接	「第４次長野県教育振興基本計画」の「第３編　第１目指す姿」に掲げている「一人ひとりの「好き」や「楽しい」、「なぜ」をとことん追求できる「探究県」長野の学び」の実現に向けて、県内各校の高校生が一堂に会して日頃から取り組んでいる探究活動や特色ある学習活動の成果について発表し合う機会を設けることで、互いの取組み成果の共有と相互の対話を通して新たな視点を得られ、生徒自身の探究的な学びの深化につながることを目指す。		
			長野県内の高等学校が参加（R6参加校：県内46校）		

細事業No.	細事業名		R6年度予算現額	R7年度予算現額	R8年度予算
9	**「探究プラットフォーム」推進事業**		9,490 千円	9,667 千円	予算現額 10,323 うち今回補正額 0 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和８年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	「信州学」推進事業	直接	地域の中にある課題を発見、解決する能力の育成を図るとともに、信州に根差した確かなアイデンティティと世界に通じる広い視野を育成するために、地域に根差した探究的な学びの推進を支援する。		
			全県立高校101校（課程）で信州学を実施		
2	「探究プラットフォーム」推進事業	委託	優れた指導者のファシリテートのもと、各校の探究的な学びの質を高めるために、学校の枠を超えて生徒が一同に会して学びの成果を発表し合い、互いに自らの今後の成長の方向性を確認する機会を提供する。		
			スタートアッププログラム、中間相談報告会、伴走者フォーラム、マイプロ長野県Summit各１回開催		
3	高校生による中学生の主体的な進路選択支援事業	委託	中学生の進路選択の理解を深めるため、高校生等が企画運営する高校の取組を発信する合同説明会の開催を支援する。		
			県内５か所、オンライン１回		

細事業No.	細事業名			R6年度予算現額	R7年度予算現額	R8年度予算
10	**学校芸術文化振興事業費**			16,218 千円	19,218 千円	予算現額 16,646 うち今回補正額 0 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和８年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）			
1	長野県高等学校文化・芸術フェスティバル	負担金	高校生の芸術文化活動の活性化を図るため、県・支部単位で開催される創作活動成果の発表会について、開催経費の一部を負担する。 交付先：県高等学校文化連盟			
			県大会・支部大会で延べ約8,000人を支援			
2	高等学校文化振興事業（大会生徒派遣事業）	交付金	高校生の文化活動の、より高いレベルでの成果発表を支援するため、全国大会、ブロック大会に出場する生徒の参加経費の一部を補助する。 交付先:県高等学校文化連盟			
			全国大会（13大会）、ブロック大会（５大会）への参加支援			
3	高等学校芸術文化鑑賞事業	直接	定時制・通信制の高校、小規模校が芸術文化鑑賞に触れる機会を確保するため、学校行事として行う芸術文化鑑賞に関する公演料と交通費の一部を助成する。			
			約3,500人を支援			
4	2018信州総文祭を次世代につなぐ文化部活性化事業	負担金	2018信州総文祭開催を契機にレベルアップした文化部活動が継続的に発展するとともに、その成果を普及させるために、技術講習会等の実施経費を負担する。 負担先：県高等学校文化連盟の該当する専門部			
			講習会のべ70回			

細事業No.	細事業名			R6年度予算現額	R7年度予算現額	R8年度予算
11	**グローカル人材育成事業**			257,107 千円	311,173 千円	予算現額 416,245 うち今回補正額 0 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和８年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）			
1	信州英語教育ルネサンス事業	直接	小・中学校の出前講座を実施し、課題に応じた指導支援を強化。高校では「アップスキルプロジェクト研修会」を実施（地区別研修・外部講師・視察）し、通信発行で情報共有を充実。			
			小・中出前講座、アップスキルプロジェクト研修会６回、通信発行			
2	サマースクールを活用した多様な学びの機会創出事業	補助金	子どもたちの多様な進路選択、興味関心に対応するため、高校生が国際的に活躍する社会人や大学生等と交流するサマースク―ルの実施を支援する。			
			サマースク―ル実施２か所			
3	「海外での学び」推進事業 （信州つばさプロジェクト）	直接 負担金 補助金	高校生の留学気運の向上を図るため、留学フェアの開催や事業の広報活動等を行う。 高校生の海外留学の「最初の一歩」を支援するため、教育委員会と連携協定を結んでいる台湾をはじめ、韓国、ベトナム・カンボジア、アメリカ等で、県が企画する短期留学プログラムを実施する。 高校生の留学者数を倍増させるため、個人留学に対して、行先と期間に応じて経費の一部を補助する。補助金交付先：県内の高校生			
			県企画４コース（122名）、個人企画（短期・長期 50名）			
4	高校生海外研修事業	直接 補助金	高校生の海外大学進学を促進させるため、県教育委員会の企画する短期の海外派遣プログラムの費用の一部を国費により支援する。 補助金交付先：県内の高校生			
			県教育委員会が企画する短期の海外派遣プログラム１件			
5	地域人材の活用による英語力向上事業	直接 委託 負担金	高校生の豊かな英語コミュニケーション力と異文化理解のため、県立高校等へ外国語指導助手を配置する。 高校生の豊かな英語コミュニケーション力と異文化理解のため、県立高校等への外国語指導助手の配置を業務委託する。 委託先：民間事業者			
			ALT67名を配置			
6	We Are Astra! ～長野県の明日を切り拓くトラベラーズ～信州未来の担い手育成支援事業	直接 委託	長野県の明日を切り拓く担い手を育成するため、選抜した児童生徒に対し、県内企業訪問や1日海外疑似留学、先端技術や最先端研究に触れる機会を提供する。			
			海外疑似留学体験等を委託4回程度			

細事業No.	細事業名	R6年度予算現額	R7年度予算現額	R8年度予算
12	**高等学校等教育改革推進事業**	－ 千円	－ 千円	予算現額 55,223 うち今回補正額 49,892 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和８年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）
1	高等学校等教育改革推進事業（松本工業高等学校）	直接	産業イノベーション人材の育成に向け、国の高等学校等教育改革推進事業で採択された松本工業高校において、これから取り組む、学科改編、教育課程改革、産学連携による実践的な学びの充実に向けて、事業の実施体制を整備する。 産学連携による実践的な学びとして、地元企業の技術者による講習を実施する。 事業管理スタッフ（専任）の配置　１名、地元企業による講習回数 5回程度
2	高等学校等教育改革推進事業（飯田高等学校）	直接	産業イノベーション人材の育成に向け、国の高等学校等教育改革推進事業で採択された飯田高等学校において、これから取り組む、文理を融合したカリキュラム編成と新規教科（AI活用と探究活動を行う「I-QP（I-QUEST Project）」）の導入等に向けて、事業の実施体制を整備する。 事業管理スタッフ（専任）の配置　１名、アカデミック・エンジニアコーディネーターの配置 １名
3	高等学校等教育改革推進事業（佐久総合技術高等学校）	直接	産業イノベーション人材の育成に向け、国の高等学校等教育改革推進事業で採択された佐久総合技術高等学校において、これから取り組む、地域の農業・食品関連事業者と連携した実践教育を基盤とする新規科目の導入等に向けて、事業の実施体制を整備する。 事業管理スタッフ（専任）の配置　１名、地域連携コーディネーターの配置 1名
4	高等学校等教育改革推進事業（総合教育センター）	直接	産業イノベーション人材の育成に向け、国の高等学校等教育改革推進事業で採択された総合教育センターにおいて、これから取り組む、ICTを活用した中山間地域・県境地域７校の学びのネットワークと新規教科「信州みらい学」の設定等に向けて、事業の実施体制を整備する。 事業管理スタッフ（専任）の配置　１名、伴走探究・改革先導コーディネータの配置 ８名